



わたしも
ごんごくろ

鍛形 蕙齋の
作品を
教えてほしい

3月に放送されたテレビ番組で鍛形蕙齋の名前を知りました。「葛飾北斎よりも6歳ほど若く、北斎よりも才能は優れていた」と紹介されました。今まで、その名前すら知らなかったのいろいろな調べてみましたが、津山藩のお抱え絵師であったことくらいしか分かりませんでした。津山市には鍛形蕙齋の作品はどのくらいあるのでしょうか？(Eメールでのお便り)

市で所蔵している肉筆作品は「江戸一丁目」の鳥瞰図で、全国的にもよく知られている有名な作品です。ほかに小型の版画では「日本名所図」と「江戸名所図」「魚貝譜」を所蔵しています。蕙齋は黄表紙の挿絵など、多数の版画作品を残していますが、確認されている肉筆作品は多くありません。また、津山藩のお抱え絵師であったのですが、江戸を中心に活動していたので「津山景観図屏風」などの個人所蔵の作品を含めても、津山にはわずかな作品が残されているだけです。



江戸一丁目図屏風

津山だんじりを紹介しようと思っただけです。津山だんじりは、大隅神社11台、徳守神社24台、高野神社13台の計48台があり、市内でほかの祭りに出動するものも合わせれば、その数は日本でも三本の指に入るのではないかと思います。また、そのうち28台は県指定重要有形民俗文化財に指定されています。



津山だんじりを紹介しようと思っただけです。津山だんじりは、大隅神社11台、徳守神社24台、高野神社13台の計48台があり、市内でほかの祭りに出動するものも合わせれば、その数は日本でも三本の指に入るのではないかと思います。また、そのうち28台は県指定重要有形民俗文化財に指定されています。

延原 誠さん(上之町出身)

郷土の誇り津山だんじり広めたい

未来をひびかる 津山人

勝間田町のだんじりと、知り合いに頼んで坪井町のだんじりにも乗っていました。わたしの町内にはだんじりが無かったので、祭りに対する思いが余計に強いのかも知れませんね。昔は祭りの日が決まっていた、学校が半日休みになりました。祭りでは、曳き手の中にいる父親から普段とは違う「格好良さ」を感じたのが印象に残っています。また、徳守神社の大神輿を初めて見た時は、幼かったことあるのでしょうか「山が動いている」と思うほど巨大に感じましたね。

これからのそのすばらしさを広く伝え、お手伝いもしていきたいと考えています。

貸し出しも行っていきます。管理や大会時の運営なども自分たちでしているのでなかなか大変ですが、楽しく体を動かしながら、いつまでも健康に過ごしていきたいという思いは皆同じです。わたしたちはスコアを管理・分析しながら、日々練習に励んでいます。上達すれば目標が生まれ、気持ちに張りも出てきますよ。

津山かなびクラブ

練習日 毎週火・木・土・日曜日午前9時～11時30分
ところ 津山さら山グラウンド・ゴルフ場(高尾)
問い合わせ先 佐藤さん ☎23-1356



わたしのおすすめ

手作りのグラウンド・ゴルフ場



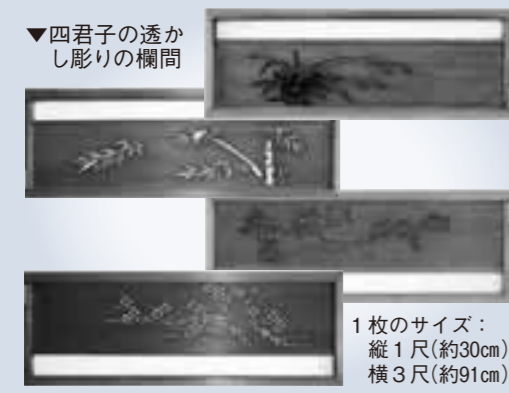
津山かなびクラブ会長 佐藤茂男さん(津山口)

津山かなびクラブは、現在60歳から85歳の53人の会員が市内各地から集まり、生涯スポーツとしてグラウンド・ゴルフに取り組んでいます。

平成12年、自分たちの練習場を作ろうと棚田を利用し、グラウンド・ゴルフ場を作りました。廃材などを活用しながら、土を運び、コースを作り、芝を植えるなど、一つひとつの作業を会員たちの手で進めていきました。補助金などほかの力に頼ることなく、自分たちの手で作りあげたグラウンド・ゴルフ場は、思いのこもった手作りの良さにあふれています。コースは全部で6面。眺めも良く、すばらしい環境でプレーできます。大きな大会に使われることもありますし、他の地区のクラブに



この5月に、ふるさとへの感謝の気持ちを込めて、作州城東屋敷に津山まつりに参加する全だんじりを紹介した「津山だんじりデータベース」(タッチパネル式端末機)を寄贈しました。一人でも多くの人が津山を訪れてくれるよう観光PRに活用してほしいと思っています。全国に誇れる津山だんじり。



1枚のサイズ: 縦1尺(約30cm)×横3尺(約91cm)